

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

栃木県

栃木県内外国人労働者、初の3万人超え 栃木労働局23年10月末

時点 「特定技能」が大幅増

2024/02/15

栃木労働局の外国人雇用の届け出状況
まとめによると、県内の外国人労働者
数は2023年10月末時点で前年同期
比9・7%増の3万2728人と、07
年の届け出義務化以降、初めて3万人
を超えた。



初めてのしゃぶしゃぶ体験！

2024/04/10

インドネシアから来日し、技能実習生として栃木県で日本語を学ぶ中で初めて日本食のしゃぶしゃぶ屋さん、パン菓子製造業の受入企業様に招かれました。温かい出汁に、薄切りのお肉をくぐらせ、美味しさを堪能しました。実習生はみな目を輝かせて日本の食文化に興味津々で、新しい経験を楽しんでいます。技能実習生の受け入れには、彼らの文化や背景を理解し、思いやりを持って接することが大切です。実習生のみなさんが日本で新しいことにチャレンジする姿勢を尊重し、サポートすることで、充実した技能実習生の生活が実現できます。



外国人材は「頼みの綱」…選ばれる企業になれるか、

中小の経営課題に

2024/01/17

中小企業にとって外国人材の重要度が増している。生産年齢人口の減少という構造的問題も背景に人材不足が深刻化する中、外国人材は頼みの綱だ。また外国人技能実習制度が、長期就労の道を開く形で新制度に切り替わる見通しで制度面でも受け入れは転機にある。一方、外国人材は国内、近隣国の企業同士で奪い合いになるとみられる。魅力ある環境を整え、外国人材に「選ばれる企業」になれるかが、中小の経営力を左右する時代に入る。



因島鉄工で働くマイン氏。23年9月、造船・舶用分野で国内初の特定技能2号試験に合格した

<https://newswitch.jp/p/40091>

連続山あい「ポツンと強盗」相次ぐベトナム人の犯罪…背景に「甘い勧誘」と「誘惑」技能実習生制度「3年の壁」越えれば不法滞在に

2024/06185

松本市や関東周辺で相次いだ、広域強盗事件で、一連の犯行に関わった疑いが持たれているのが、すでに逮捕されているベトナム国籍の男2人です。

異国の地で、彼らはなぜ、犯行に及んでしまうのか。

その背景にはSNSで繋がるコミュニティと、ある「誘惑」がありました。



<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/sbc/1239889?display=1>

47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

栃木県

“農園経営者から性的暴行”技能実習生提訴 経営者は争う姿勢

2024/12 /16

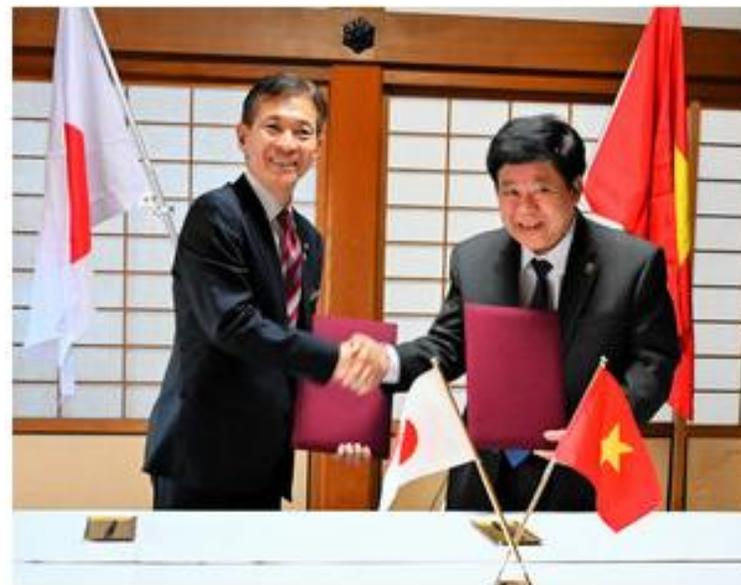
技能実習生として働いていたカンボジア人の女性が、実習先の栃木県内のいちご農園の経営者から繰り返しの性的暴行を受けたとして、賠償などを求める訴えを起こしました。一方、経営者は「相手が同意していると思っていた」として、争う姿勢を示しています。16日、東京地方裁判所に訴えを起こしたのは、去年4月まで栃木県内のいちご農園で技能実習生として働いていた20代のカンボジア人女性3人で、代理人の弁護士と支援する労働組合が都内で会見を開きました。



足利市がベトナム・クイニョン市と覚書 経済交流深めるねらい

栃木県足利市がベトナムとの交流を深めようと、11日、同国のクイニョン市と「相互協力に関する覚書」を締結した。経済交流が狙いで、人材を呼び込んで人手不足を解消し、インバウンド（訪日外国人客）の拡大もめざしたい考えだ。クイニョン市の視察団11人が今月中旬、足利市を訪れた。史跡足利学校であった締結式で、市長にあたるゴ・ホアン・ナム人民委員会委員長と早川尚秀・足利市長が覚書に署名した。「観光、文化、産業、教育などの分野に関する理解を深め、両市の交流・協力の促進に努める」などとする内容だ。

2024/11 /17



覚書を締結し、握手する栃木県足利市の早川尚秀市長（左）とベトナム・クイニョン市のゴ・ホアン・ナム人民委員会委員長＝2024年11月11日、栃木県足利市の史跡足利学校、上嶋紀雄撮影 

初めて実習生と企業様と食事会

2024/10 /22

栃木県小山市にある企業様の工業包装において、今年の3月に現地で面接を行い、10月によりやく入国できました。日本に来た実習生たちはとても楽しい時間を過ごしました。1ヶ月の講習期間中に、企業様が学校を訪問してくださり、実習生たちとさまざまなこととお話する機会がありました。訪問の後、実習生たちは企業様と一緒にお昼ご飯を食べました。彼らにとって初めての日本の飲食店は素敵な場所で、食事をしながら企業様とのコミュニケーションを楽しむことができました。



ビレッジハウス 栃木県益子町で外国人対象の防災イベントを開催

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は11月22日、栃木県益子町にある「ビレッジハウス益子」に居住するベトナム人を対象に、防災イベントを開催した。日本での安心安全な暮らしをサポートすることを目的としたもので、当日はベトナム人技能実習生26人が参加した。地域のゴミ出しルールをはじめとする暮らしのマナーのほか、日本の災害情報や備えの重要性を学び、地震発生時に身を守る動作「シェイクアウト訓練」も行った。後半はVR防災体験車を使って地震を疑似体験し、防災意識を高める機会となった。

2024/11 /27



介護職員の充足率、栃木県は2026年度全国ワーストに 厚労省推計

2024/07 /21

栃木県の介護職員の需要に対する供給見込みの「充足率」が2026年度に都道府県別でワーストとなり、40年度は46位になることが、厚生労働省の推計で明らかになった。介護業界での人手不足は社会問題化しており、栃木県は全国的にみても深刻な状況だとデータが示している。 3年ごとの介護保険の見直しに合わせ、必要と見込まれるサービス量から各都道府県が推計したものを、同省が7月12日に公表した。



介護の日フェスティバルの外国人介護職員トークショーに参加した人たち=2023年11月11日、宇都宮市、由利英明撮影